

第6章 未来の洞爺湖町のために



2050年の洞爺湖町の将来像

1 洞爺湖町の目標達成に向けた取組・施策

○温室効果ガス排出量の削減目標及び再生可能エネルギー導入目標を達成するため、各基本方針において、洞爺湖町の目標達成に向けた取組・施策を計画しました。**赤字は重点的に行う施策を示しています。**

○各施策に対する町民・事業者・町がそれぞれ果たすべき役割を以下に示します。それぞれの立場で協力し合い、主体的な取組を進めることで着実に計画を達成していきます。

表 6-1 災害に対するレジリエンス（対応力）強化

基本方針	対策	施策	町民	事業者	町
①災害に対するレジリエンス（対応力）強化	1. 住民・事業者へ情報提供と導入支援	・再エネや省エネ施設・設備等の導入促進	○	○	○
		・再エネ・省エネの情報提供			○
		・定期的な学習会・説明会の実施	○	○	○
		・防災・減災意識の醸成	○	○	○
		・ふるさと納税等を活用した資金源の確保			○
		・J-クレジットの活用促進		○	○
	2. 避難施設のエネルギー自給	・役場庁舎への再エネ・省エネ設備の導入			○
		・避難施設へ再エネ設備及び蓄電池の配備			○
		・エネルギー貯蔵利活用システムの導入		○	○
		・役場の蓄電池の設置場所の検討			○
		・地域エネルギー会社の創設		○	○
		・地域マイクログリッドの構築（エネルギー自給構想を検討）			○
	3. 平時の再エネ利用	・次世代自動車(EV や HV 等)と V2H の導入推進	○	○	○
		・次世代自動車を循環バスとして利用			○
		・平時の避難施設での再エネ利用			○

表 6-2 革新と歴史風土の融合による産業の発展

基本方針	対策	施策	町民	事業者	町
②革新と歴史風土の融合による産業の発展	1. 洞爺湖サミットのレガシー(遺産)の継承	・ 児童・生徒対象の学習会・ワークショップの実施	○	○	○
		・ 既存堆肥化施設の更新、取組の継続的な実施	○	○	○
	2. 次世代を担う若者への理解醸成	・ 環境教育の継続的实施	○		○
		・ TOYAKO マンガ・アニメフェスタ等でのキャンペーン等の実施	○	○	○
	3. 町内バイオマス資源(有機廃棄物)の有効活用	・ 既存の堆肥化施設の取組の発展・設備更新			○
		・ 地域資源を活用した再エネの導入推進		○	○
		・ 地域資源循環の促進	○	○	○
		・ 廃棄物処理経費削減			○
		・ 有機肥料の活用		○	○
	4. 革新的技術への積極的な挑戦	・ 高効率な革新的技術の導入促進	○	○	○
		・ 脱炭素の取組成果を町内外・各産業へと波及		○	○

第一章

第二章

第三章

第四章

第五章

第六章

第七章

第八章

第九章

第十章

表 6-3 自然環境の維持と脱炭素

基本方針	対策	施策	町民	事業者	町
③自然環境の維持と脱炭素	1. 計画的な森林整備の実施	・ 町民植樹祭の実施	○	○	○
		・ 森林の整備		○	○
		・ 防災機能の高い森林の造成			○
		・ 民有林の整備促進	○	○	○
		・ 未立木地の解消のための計画策定・積極的な実施			○
		・ 緑化の推進	○	○	○
	2. 林業の担い手確保	・ 観光地周辺の森林で森林環境教育等の実施		○	○
		・ 担い手確保			○
	3. 藻場の再生・造成	・ 藻場の再生・造成		○	○
	4. 未利用資源の利活用	・ 上水道への小水力発電導入			○
		・ もみ殻燃料棒の利用促進		○	○
		・ プラスチック製容器包装の分別収集・リサイクルの推進	○	○	○
		・ 木質バイオマスの利用	○	○	○
		・ 上下水道施設へ省エネ設備導入			○
		・ 廃棄物焼却量の削減	○	○	○

表 6-4 自然に立脚した観光業の持続可能性向上

基本方針	対策	施策	町民	事業者	町
④ 自然に立脚した観光業の持続可能性向上	1. 再エネ・省エネで事業コストを低減	・ 既存設備更新時に省エネ設備導入を促進		○	○
		・ 再エネ設備導入促進		○	○
	2. 観光に「エコ」の付加価値	・ エコカップ持参で特典が受けられるなどのエコな観光の促進		○	○
		・ ゴミ分別の推進	○	○	○
		・ イベントへのカーボン・オフセット*の推進		○	○
		・ バイオプラスチック類の普及	○	○	○
		・ 廃プラスチックや廃油等のリサイクル促進	○	○	○
	3. 洞爺湖をゼロカーボンパークに	・ 支笏洞爺国立公園の洞爺湖町領域をゼロカーボンパークに推進	○	○	○

2 2050 年の洞爺湖町はどうなってるの？

○これまでの基本方針や町民からの意見、再生可能エネルギー導入目標などに基づいて、本計画の最終年度である 2050 年時点の洞爺湖町の将来像をイメージしました。



図 6-1

○町の活性化や洞爺湖町に関係する人たちの暮らしが豊かになることを目指すとともに、CO₂ 排出量の削減と、それに関連する再生可能エネルギーや省エネルギー対策を積極的に進めていきます。



洞爺湖町の将来像

3 洞爺湖町の特徴である、多様な産業間の連携

○洞爺湖町は、湖（洞爺湖）と山（有珠山）と海（噴火湾）に囲まれた自然豊かな町であり、それら自然の恵みにより、観光業、農業、畜産業、林業、漁業と、多様な産業があります。これは、洞爺湖町の土地柄と自然、歴史に由来する、唯一無二の特徴と言えます。

○地域における脱炭素は、脱炭素を成長の機会と捉える時代の「地域の成長戦略」であり、自治体・地域企業・市民など地域の関係者が主役となって、産業の垣根を越えた、産業間の連携を図ることで、地域に新たな魅力を生み出すとともに、地産地消など地域内での経済循環を促進することができます。

○すでに洞爺湖町では、脱炭素に寄与する産業間の連携が進められています。例えば、観光業では、町産農水産物の提供による地産地消や、町の森林から出た薪や未利用材をキャンプ場での利用などにより、地域資源の循環が行われています。

○林業と漁業の関わりでは、計画的な森林整備や町民植樹祭などを行っています。豊かな森づくりをすることは、海の豊かさを支える重要な要素です。森林は河川を通じて海につながっており、山からの水の流れによって栄養分や有機物が海に供給されます。この供給された栄養分が、海洋生態系の豊かさや漁業資源の形成に大きく寄与しています。

○洞爺湖町ならではの特徴である、多様な産業が、互いに連携する視点を本計画でも重視しており、それぞれの産業の強みを生かして、町の活性化や地域課題の解決、CO₂排出量の削減につなげていきましょう。

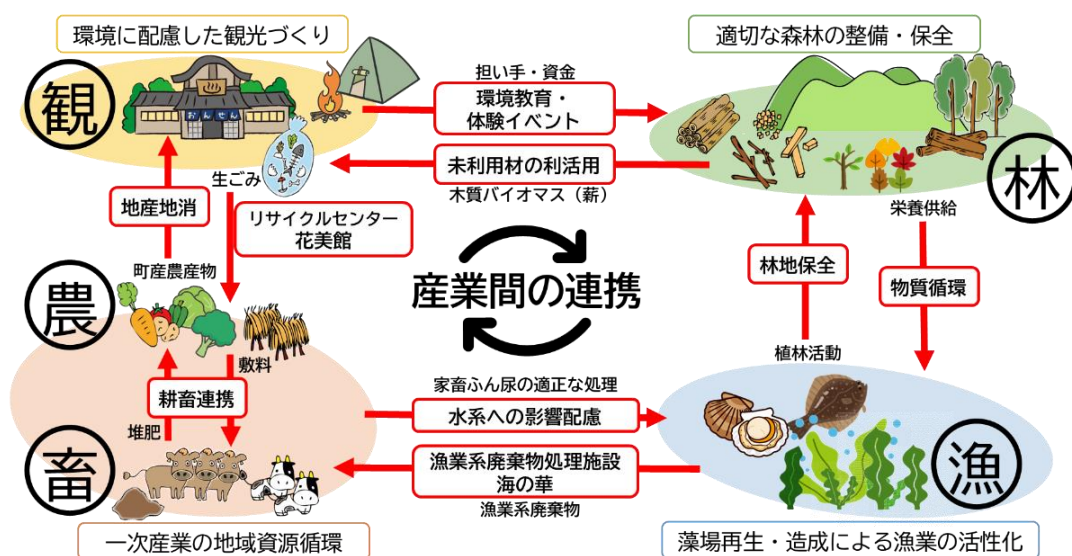


図 6-2 洞爺湖町における、多様な産業間の連携イメージ図